

管理番号：1166  
平成24年1月20日

### 酒類等の分析報告書

貴製造場から提供いただいた試料送付番号 113 の分析結果については、以下のとおりです。

なお、この報告書はあくまでも提供いただいた試料についての分析結果を示すものであり、貴製造場から出荷される製品全ての安全性を保証するものではありませんのでご注意ください。

酒類製造者 住所氏名	(代表者氏名) 本田 毅		
	(製造場名称) 有限会社 ホンダワイナリー ワイン工房あいづ		
	(所在地) 耶麻郡猪苗代町大字千代田字千代田3番7		
分析項目 及び方法	ガンマ線放射能の有無又は核種分析について、平成14年3月厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に準拠して実施した。		
試料区分	果実酒		
分析結果	(1)ガンマ線放射能の有無(注1)	不検出	
	(2)核種分析(注2、3)	放射性ヨウ素	Bq/kg
		放射性セシウム	Bq/kg
	備考		
分析年月日	平成24年1月6日		

(注1) 核種分析を実施した場合には結果は記載していない。また、試料と対照試料の測定値の間に統計的に有意な差(有意水準5%)が見出されなかった場合は“不検出”と示した。

対照試料には、「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に従い、蒸留水を使用した。

(注2) 結果は別添のとおり。なお核種分析は、原則として「ガンマ線放射能の有無」において統計的に有意な差が見いだされたものについて実施した。

(注3) 放射性セシウムについては、セシウム134とセシウム137の合算値である。

仙台国税局鑑定官室  
鑑定官室長 岩槻 安浩

